

皆さん、こんにちは。

本日この場にいられることをとても嬉しく思います。また、お時間を頂き感謝致します。

私はこれから MDA(テキサス大学 MD アンダーソンがんセンター)で乳がんの組織的な治療方法を学び、また、私の研究を進められることを幸せに感じています。

私は乳腺外科医で、地方のがん専門病院で働いています。

我々の治療方法は専門化と細分化によって進歩してきました。

10 年以上前に研修医になった頃、私は公立病院で一般外科について学び、そこでは私はあらゆるタイプの患者の処置を行う必要がありました。とても多くの患者を効率的に処置していましたが、それが本当に患者にとってベストな方法なのだろうか、と思うことがありました。

私の病院では多くのスタッフが乳がん患者の治療にたずさわっていますが、個々の努力を効果的に連携出来てはいません。我々は日々、確かなエビデンスに裏打ちされた知識を用いて患者の治療にあたっていますが、治療を最大限に効率化できているとは言えません。

私は若年性乳がん患者と、家族性乳がん(遺伝性乳がん)患者に特に関心を持っています。乳がん患者の年齢が以前に比べて下がっているためです。

"がん患者（治癒している、していないに関わらず）に充実した人生を与えること"

これが私の願いであり夢です。

私は今、より患者一人一人に合わせた治療とサポートを如何に提供出来るか、また、私自身のモチベーションと情熱をどうしたら保てるかについて考えています。

不幸な事ですが、がんを根治出来ない患者は常に存在します。

また、がんが治ったとしても、残りの人生をずっと再発に怯えて生きることになります。

私は患者それぞれが人生を全うするための手助けをする医療組織を設立したいと思っています。

私は最も先進的ながんセンターについて学び、その知識を持ち帰って日本のがん患者治療に生かしたいと思います。

夢を実現する機会を与えて下さったことに改めて感謝致します。